

向井 響：竹田理琴乃委嘱作品（世界初演）
ピアノのための「楽園の鳥たち」

シューマン＝リスト
献呈

ブラームス
6つの小品 Op.118 より

ショパン：小林 仁 編曲 弦楽六重奏版
ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11 他



向井 響



小林 仁

竹田理琴乃

Rikono Takeda

ピアノリサイタル 2022

3年シリーズ 第一夜 愛と別れ

2023年 第二夜「喜びと悲しみ」 2024年 第三夜「生と死」を開催予定

室内楽共演者



水谷 晃
1st. ヴァイオリン



ジドレ・オヴシュカイテ
2nd. ヴァイオリン



ダニール・グリシン
1st. ヴィオラ



般若 佳子
2nd. ヴィオラ



ソンジュン・キム
チェロ



ダニエリス・ルピナス
コントラバス

2022. **12.16** (金) 19:00 開演
18:30 開場

一般 3,000円 | 高校生以下 1,000円

金沢市アートホール

〈チケットお取り扱い〉

石川県立音楽堂チケットボックス TEL 076-232-8632

主催：ムジーク・ブルーメンクランツ
後援：石川県ピアノ協会・(公財)石川県音楽文化振興事業団
(一財)石川県芸術文化協会・北國新聞社・テレビ金沢
協力：(株)開進堂楽器・(株)河合楽器製作所金沢店
島村楽器(株)金沢フォーラス店
助成：(公財)いしかわ県民文化振興基金

入場時に検温いたします。37.5度以上の発熱や風邪の症状がある方の入場はご遠慮いただきます。マスクの常時着用と、館内設置の消毒液や手洗いなどで、こまめな手指の消毒をお願いいたします。

Profile

竹田 理琴乃

全日本学生音楽コンクール全国大会第58回小学校の部第1位。第62回中学校の部第3位。第64回高校の部第1位。第82回日本音楽コンクール第3位。

第17回、第18回ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)ディプロマ。

The10th'Youngsters Interpret' Chopin'Competition in Konin(ポーランド)第1位。

第2回いしかわ国際ピアノコンクール大学・一般の部金賞、聴衆賞。

第28回宝塚ベガ音楽コンクール第1位、兵庫県知事賞、会場審査員特別賞。

The3rdCoimbraWorldPianoCompetition(ポルトガル)第3位。

第7回北陸新人登竜門コンサートのオーディションにて優秀者に選ばれ井上道義氏指揮、OEKと共演。

ショパン国際ピアノコンクールin ASIAコンチェルトB部門金賞、依田巽賞。コンチェルトC部門銀賞。

第25回松方ホール音楽賞を受賞。

いしかわミュージック・アカデミーにて奨励賞、IMA音楽賞。

第14回ミュージック・アカデミーinみやざき2021にて優秀賞。

12歳で(公財)石川県音楽文化振興事業団主催による初リサイタル以降、数多くのリサイタルを行う他、迎賓館赤坂離宮エラルピアノ、ショパン・フェスティバルin表参道、いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭、宮崎国際音楽祭など多数のコンサートやNHK-FM「リサイタル・パッション」に出演。

ポーランド国立ショパン音楽大学を首席で卒業。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程を首席で修了、大学院市長賞受賞。

作曲・編曲

向井 響 ピアノのための「楽園の鳥たち」作曲

第6回マールテン・ギゾール国際作曲コンクール、第33回ACL青年作曲賞、ORDA-2019作曲部門、各第1位。2018年ストラズブル現代音楽祭にて最優秀賞、2020年マリン・ゴレミノフ国際作曲賞を受賞。第84回日本音楽コンクール作曲部門第1位。併せて岩谷賞。桐朋学園大学卒業。ハーク王立音楽院ソロジー研究所修士課程を最優秀で修了。ヤマハ音楽支援制度留学奨学生。ローム・ミュージックファンデーション奨学生。現在、文化庁新進芸術家海外研修員(2年)として、ポルト大学大学院工学研究科博士課程に在籍。

小林 仁 弦楽六重奏版編曲

東京藝術大学在学中に安宅賞受賞、ピアノを首席で卒業。第25回日本音楽コンクールピアノ部門第一位特賞。1960年第6回ショパン国際コンクールでファイナリスト、奨励賞受賞。ドイツ、バイエルン州政府給費奨学生としてミュンヘン音楽大学に約3年半留学。多方面な音楽活動のほか、作曲、編曲の分野でも業績を残した。日本音楽コンクール、ショパン国際ピアノコンクール、ジュネーヴ国際コンクール、浜松国際ピアノコンクールなどの審査員も務めた。2010年ショパン生誕200年記念の年に際し、ポーランド文化に貢献を果たしたとしてポーランド政府よりアルティス グロリア金勲章を授与される。2016年瑞宝中受章を叙勲。日本ショパン協会会長、(財)日本ピアノ教育連盟会長、札幌大谷大学芸術学部長などを歴任。現在、東京藝術大学名誉教授、札幌大谷大学名誉教授、洗足学園音楽大学特別教授、昭和音楽大学客員教授、(財)日本演奏連盟常任理事。

室内楽共演者

水谷 晃 (1st.ヴァイオリン)

大分市生まれ。桐朋学園大学を首席で卒業。ヴァイオリンを小林健次氏、室内楽を原田幸一郎・毛利伯郎の各氏と東京クァルテットに師事。在学中Verus String Quartetを結成し松尾学術振興財団より助成を受け、イェール大学夏期アカデミー・ノーフォーク室内楽フェスティバルに参加。その後、第57回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で第三位入賞。

2010年4月より国内最年少のコンサートマスターとして群馬交響楽団コンサートマスターに就任。2012年、同団での活躍が評価され、第9回上毛芸術文化賞を受賞。2013年4月より東京交響楽団コンサートマスター。2018年6月よりオーケストラアンサンブル金沢客員コンサートマスターを兼任。桐朋学園大学非常勤講師。

ジドレ・オヴシュカイテ Zydre Ovsukaite (2nd.ヴァイオリン)

リトアニア生まれ。国際的な音楽活動に対してリトアニアのD.グリバウスカイテ大統領(2015年)とG.ナウセーダ大統領(2020年)から、国際デビューの成功と功績に対する賛辞を公式に受ける。第7回あおによし音楽コンクール奈良(グランプリ)、第7回S.ヴァイニユナス国際室内楽コンクール(第3位、S.ヴァイニユナス作曲作品ベスト・インタープリテーション特別賞)など、国内外の数多くの国際コンクールで上位受賞。また、ダボス音楽祭(2021年)のダボス・カメラータ、セント・クリストファー室内管弦楽団(2016-2017年のシーズン)ではコンサートマスターを務める。

現在は、2021-2022年シーズンの金沢市民芸術村のアーティスト・イン・レジデンスとして活動。

ダニール・グリシン Daniil Grishin (1st.ヴァイオリン)

1975年、現ロシアのスルグトで音楽一家の元に生まれる。5歳からヴァイオリンを始め、13歳でエジプト、ノヴォロド音楽院附属音楽教室にてウラジミール・ユコフのクラスでヴァイオリンを始める。同音楽院高等部にて、マルガリータ・エヴンコワに師事。同音楽院に進みソフィア・プロビション教授の助手課程を卒業した。

2000年第4回ユーリ・バシメット国際ヴァイオリンコンクールで第一位、並びにシューマン演奏賞とミカエル・タリヴェルディエフ記念特別賞を合わせて受賞した。2002年、ギドン・クレーメルに招かれ「クレーメラータ・バルティカ」の首席ヴァイオリン奏者として数々の音楽祭に参加し、世界各国で演奏活動を行う。2003年には、第8回プレミオ・トリオ・デ・トリエステ国際室内楽コンクール(イタリア)で優勝した。2007年に、ユーフォニア弦楽四重奏団(ラトビア)のメンバーとして、ラトビア"BALVA"国家賞を受賞した。

ソリスト、またアンサンブル奏者としてノンサッチ、ECM、ドイツ・グラモフォンから録音が出ている。

般若 佳子 (2nd.ヴァイオリン)

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業、同年フランクフルト音楽・舞台芸術大学入学を機に渡欧、のちにブリュッセル王立音楽院編入と同時にヴァイオリン奏者として活動開始。現在、金沢を拠点にクランック〜現代まで活発な演奏活動を行う。広島市最優秀新人賞、シエナキジャーナディプロマ名誉賞受賞。2004年度文化庁在外派遣研修員。2020年度金沢市民芸術村レジデントアーティスト。

ソンジュン・キム Sung-Jun Kim (チェロ)

韓国・ソウル出身。韓国国立芸術大学卒業。同大学院に学び、ソリスト・ディプロマを取得。

韓国ジュニア室内楽コンクール優勝。韓国音楽協会コンクール第3位入賞(最高位)。2005年ブラハの春国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第2位入賞、併せてチェコ資金財団賞、グスタフ・マラー賞を受賞(全部門最年少)。

これまでにジョン・ミョンファ、バク・サンミン、ジョナサン・スピッツ、ルドヴィート・カンタの各氏に師事。2011年にオーケストラ・アンサンブル金沢のチェロ奏者として入団。現在、副手席代行を務める。リサイタルを開催するなどソロや室内楽奏者としても活動している。2020年に金澤弦楽四重奏団を結成し、ベートーヴェンの全曲演奏に取り組んでいる。

ダニエリス・ルビナス Danielis Rubinas (コントラバス)

リトアニア出身。1998年~2012年クレーメラータ・バルティカ室内交響楽団首席コントラバス奏者を経て、2018年よりオーケストラアンサンブル金沢 正規首席コントラバス奏者として活躍中。様々なオーケストラで首席コントラバス奏者として世界50カ国以上で演奏。ギドン・クレーメル、マリオ・ブルネッロ、樫本大進らと室内交響楽アンサンブルで共演。